

景気動向調査

水産加工業

令和4年7～9月、10～12月期

調査概要

■調査時期

令和5年1月16日～令和5年1月31日

■対象時期

【3期】当期：令和4年7月～9月 次期：令和4年10月～12月

【4期】当期：令和4年10月～12月 次期：令和5年1月～3月

■調査対象

水産加工業者40者

■有効回答率

52.5%

■調査方法

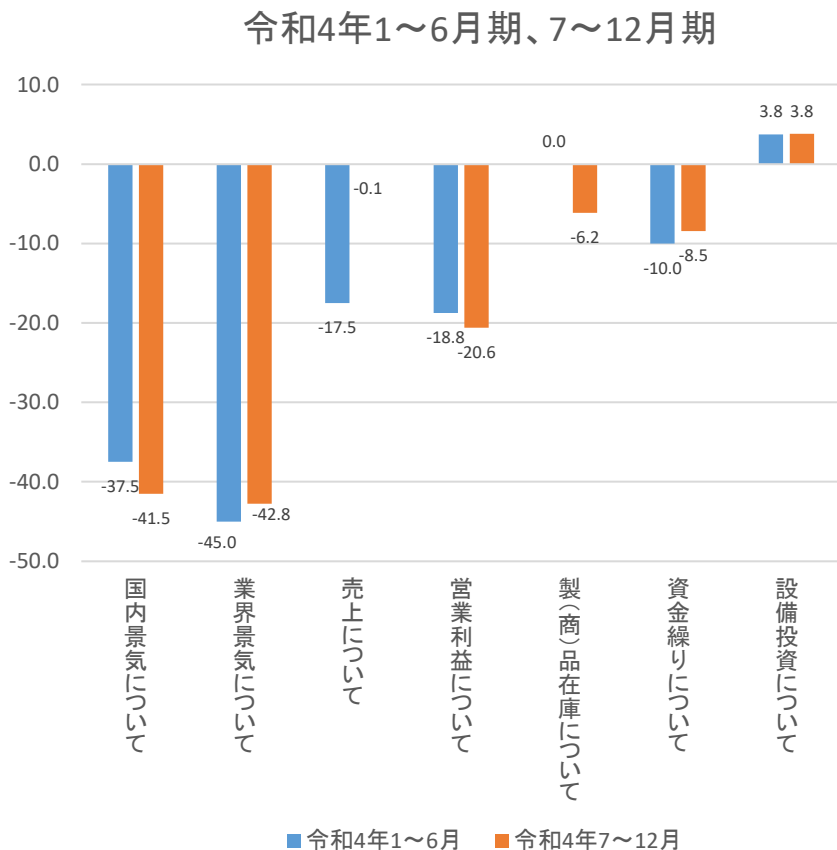
郵送によるアンケート方式（回答方法は紙媒体またはグーグルフォームの選択式）

■調査内容

- （1）業界景気、自社景況などの実績と次期予測
- （2）経営上の課題
- （3）新型コロナウイルスの事業への影響や、行政に望む支援など

調査総評① B.S.I値

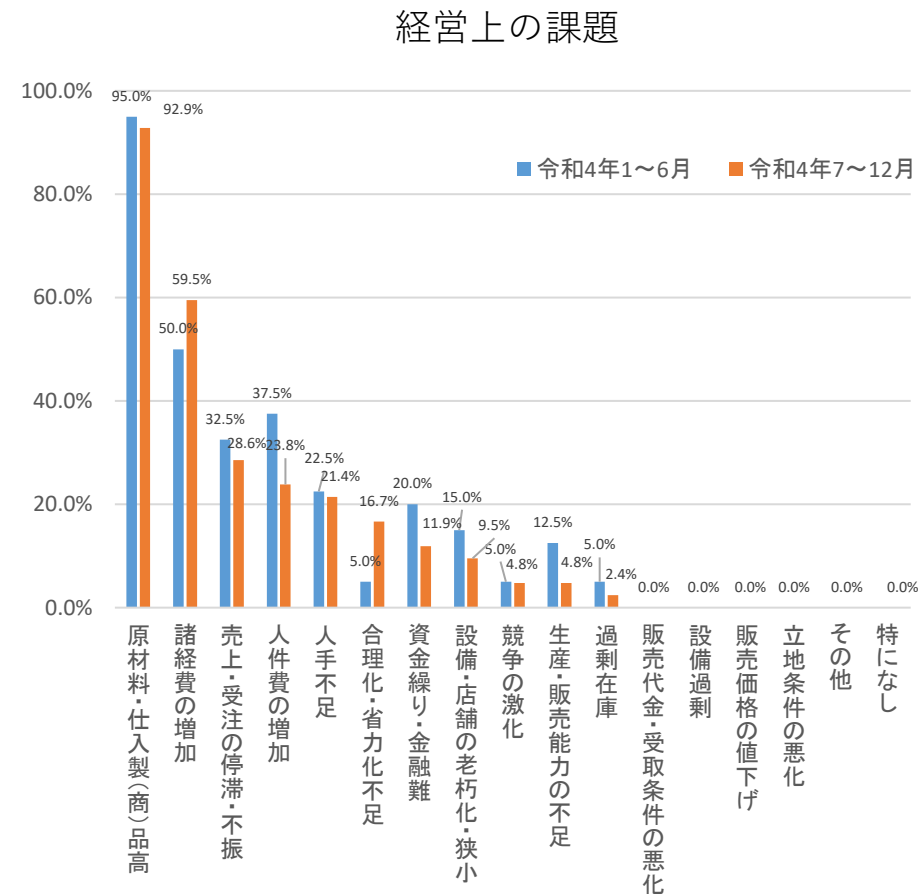
■令和4年1～6月期、7～12月期平均値の比較



- 7～12月の売上B.S.I値が0.1を記録。前期実績値と比較して約17ポイント上昇した
- 一方で、7～12月の営業利益B.S.I値は△20.6と、売上の増加が必ずしも利益に結びついていないことがわかった

調査総評② 経営上の課題

■令和4年1～6月期、7～12月期 平均値の比較



- 前期に続き「原材料・仕入製(商)品高」に90%以上の回答が集まった
- 「諸経費の増加」の回答率も上昇しており、左記営業利益のB.S.I値に通じていることが予測される

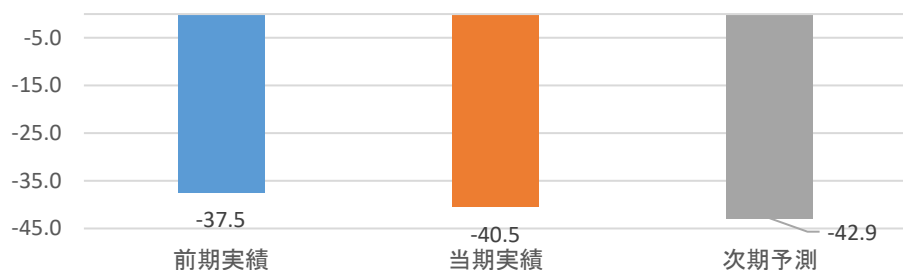
1. 【質問1】 集計結果

－ B.S.I で見る業種別景気動向－

(1) 国内景気について

■ 7～9月期

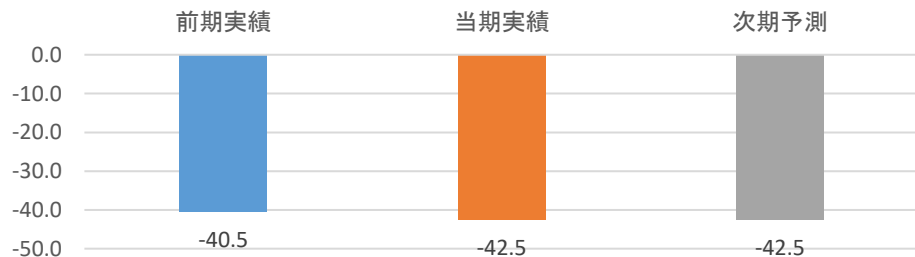
国内景気について



当期実績値は△40.5を記録。前期に引き続き、国内景気は大幅に落ち込んでいるとの見方になった。

■ 10～12月期

国内景気について

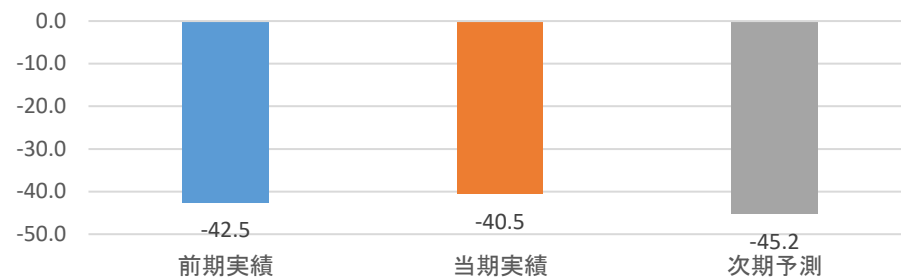


当期実績値は△42.5を記録。前期実績値と比較して微減となり、国内景気の低迷は続いたとの見方になった。

(2) 業界景気について

■ 7～9月期

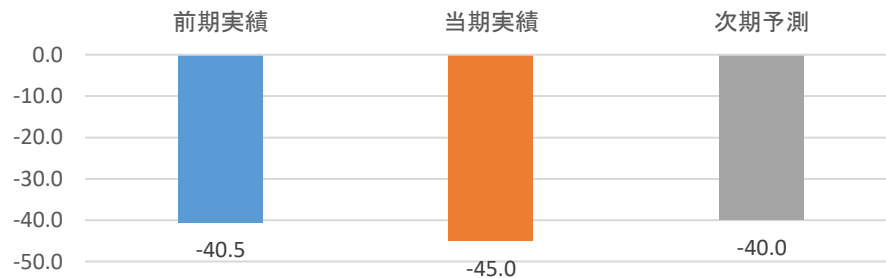
業界景気について



当期実績値は△40.5を記録。業界景気的大幅な落ち込みは続き、次期もさらに悪化の予測となった。

■ 10～12月期

業界景気について



当期実績値は△45.0を記録。業界景気の低迷は続き、次期も回復の予測とはならなかった。

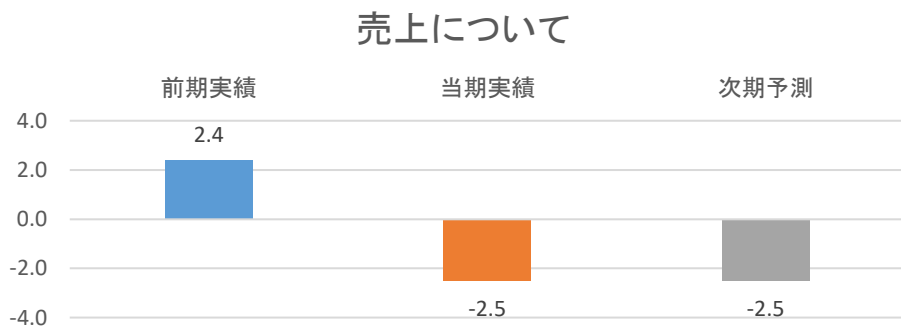
(3) 売上気について

■ 7～9月期



当期実績値は2.4を記録し、前期実績値と比較して約24ポイント上昇した。次期も当期同様となる見通しになった。

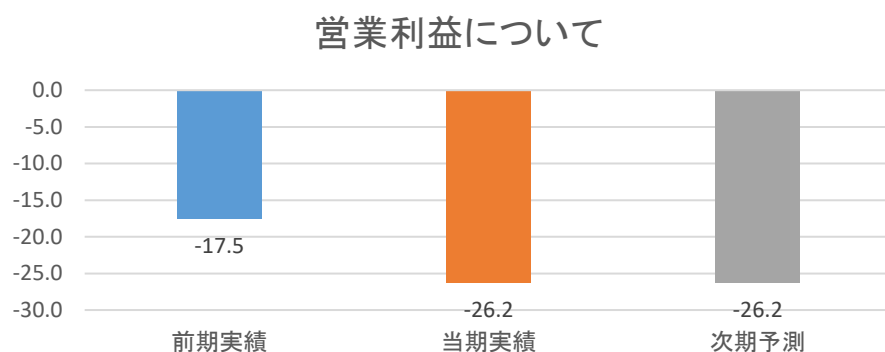
■ 10～12月期



当期実績値は△2.5を記録し、前期実績値と比較して約5ポイント減少した。次期も同様となる見通しになった。

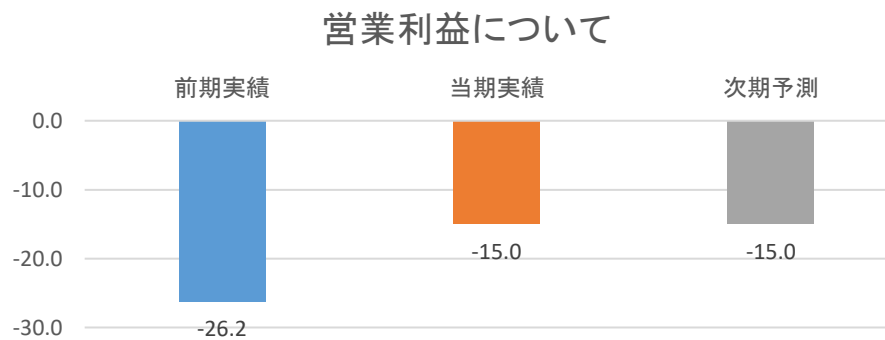
(4) 営業利益について

■ 7～9月期



当期実績値は△26.2を記録し、前期実績値と比較して約9ポイント減少した。売上のB.S.I値と反比例している。

■ 10～12月期



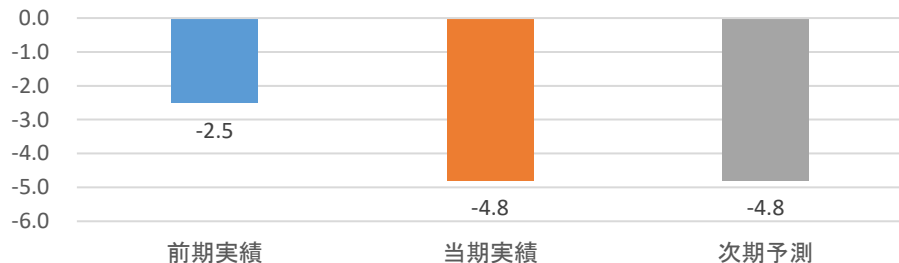
当期実績値は△15.0ポイントを記録。前期実績値と比較して約11ポイント上昇した。次期も同様となる見通し。

(5) 製(商)品在庫について

■ 7～9月期

※プラスが在庫過多、マイナスが在庫過少

製(商)品在庫について

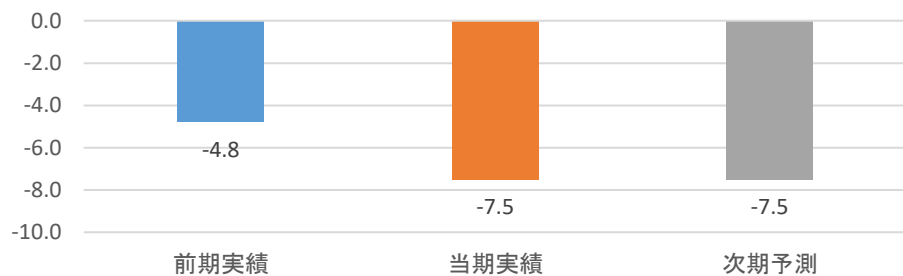


当期実績値は△4.8を記録。前期と比較して若干の減少となり、在庫が過少傾向にあった。

■ 10～12月期

※プラスが在庫過多、マイナスが在庫過少

製(商)品在庫について

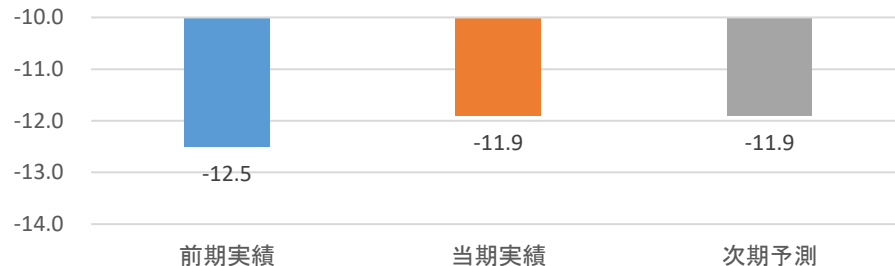


当期実績値は△7.5を記録。前期と比較して若干の減少となり、在庫が過少傾向にあった。

(6) 資金繰りについて

■ 7～9月期

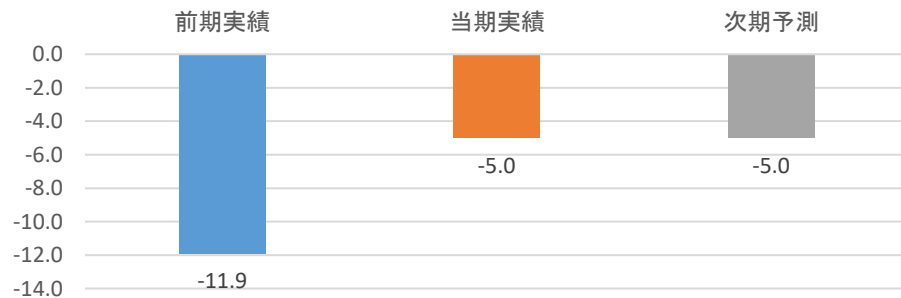
資金繰りについて



当期実績値は△11.9を記録。前期と比較して0.6ポイントの微増となった。次期も同様の見通し。

■ 10～12月期

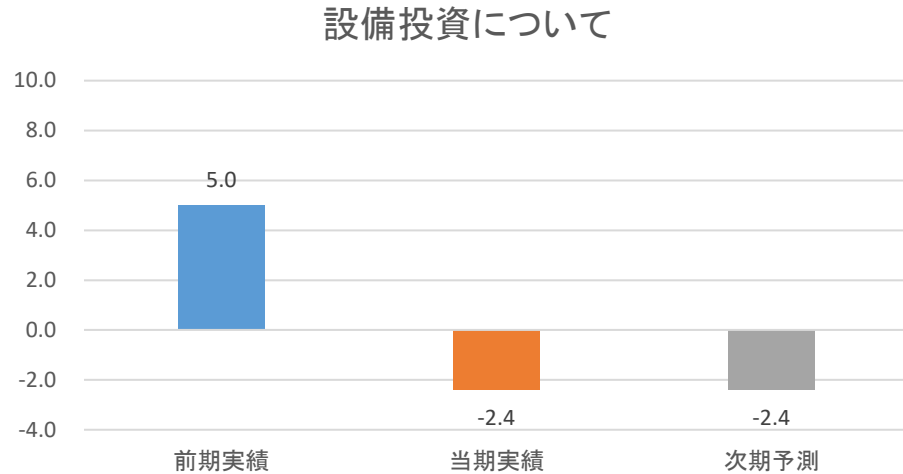
資金繰りについて



当期実績値は△5.0を記録。前期と比較して△6.9ポイントの増加となり、やや回復傾向にあった。

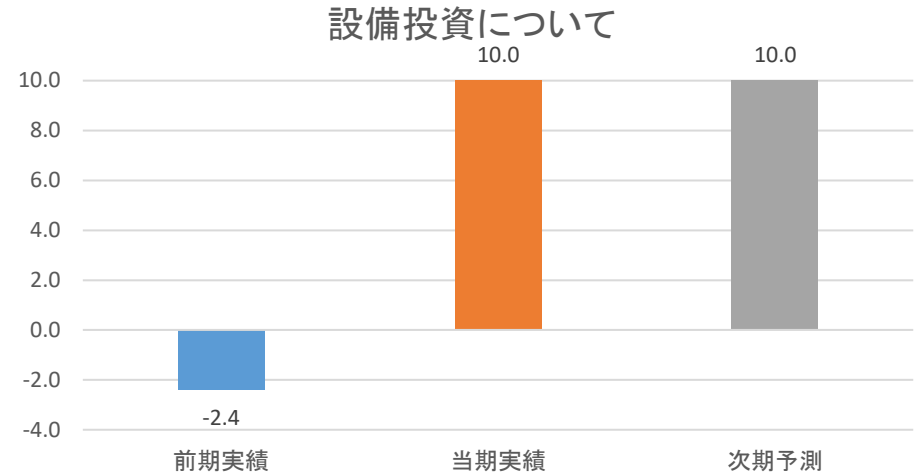
(7) 設備投資について

■ 7～9月期



当期実績値は△2.4を記録。前期と比較して約7.5ポイント減少した。

■ 10～12月期



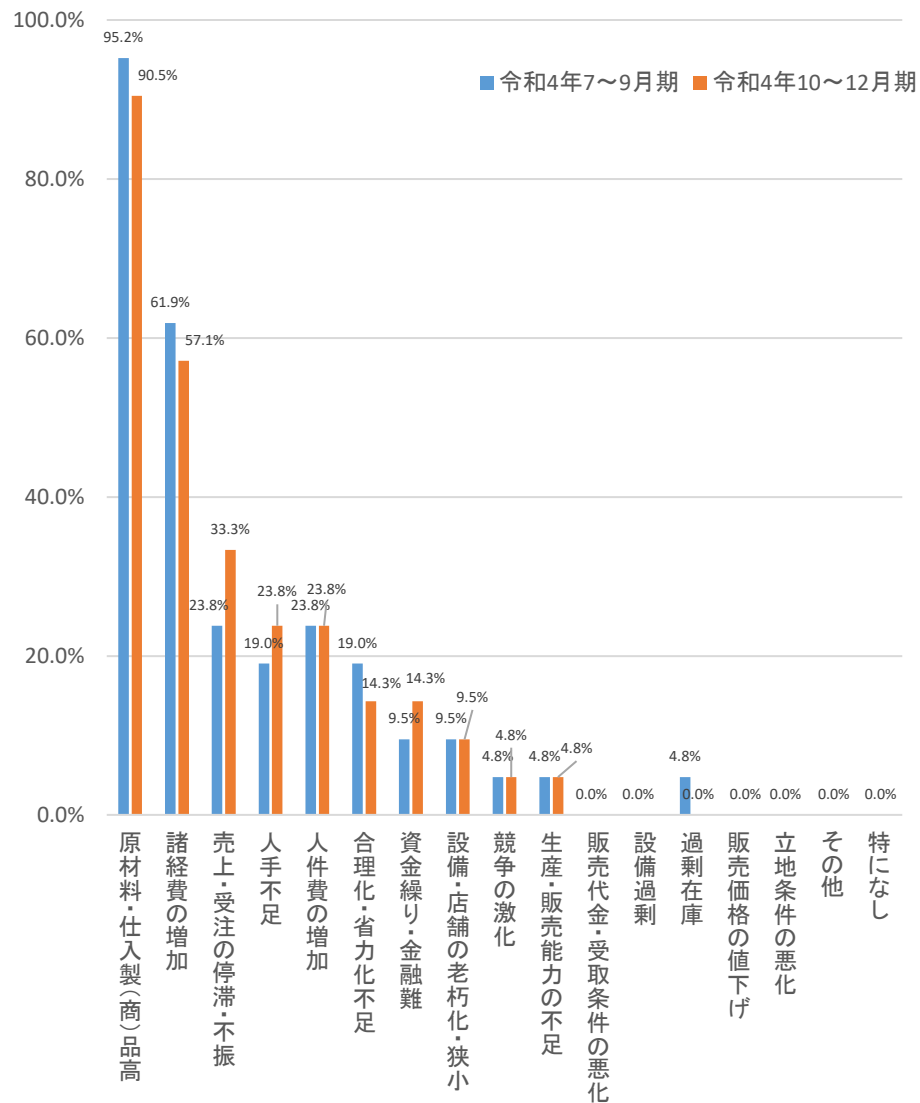
当期実績値は10.0を記録。前期と比較して約12.5ポイント増加した。次期も同様の傾向が続く見通しとなった。

2. 【質問2】 集計結果

－経営上の課題－

(2) 経営上の課題

経営上の課題



■ 前期に続き「原材料・仕入製(商)品高」は、90%以上の回答を集め、ほとんどの事業者が原材料等の高騰に苦慮していることがわかる

■ 「諸経費の増加」も60%近い回答を集めた

■ 「売上・受注の停滞・不振」が前回調査時より約10%増加。「人手不足」への回答も増加している

3. 【質問3】 寄せられた声

新型コロナウイルス感染症流行拡大による
事業への影響や、要望する支援

自由記述（新型コロナウイルスの事業への影響、要望する支援、他）

- ・ 円安対策
- ・ 展示会等の再開
- ・ 原材料の高騰が続いており、何らかの支援がほしい
- ・ 仕入価格高騰を受けて、地場水産資源の育成に期待したい
- ・ 事業所の光熱費等の減額または補助
- ・ 雇用、労働者双方にとって、増税にメリットはない
- ・ 技能実習制度の見直し
- ・ 国の賃上げ要求の一方で、増税は経営を圧迫しかねない
- ・ 消費税の減免
- ・ 設備導入（更新）への助成金等創設
- ・ 資金繰りがスムーズに進むようバックアップしてほしい
- ・ 借換利子負担の延長をお願いしたい
- ・ 工場でクラスターが発生して、休業せざるを得ないケースへの支援

参考

設問様式等

B.S.Iとは

- 「Business Survey Index（ビジネス・サーベイ・インデックス）」の略で、景況判断指数のひとつ
- 現在の景気水準をはかるDI（ディフュージョン・インデックス）に対して、BSIは前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方法性を判断できる
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：（「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」）÷2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項 目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製（商）品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

質問事項

経営上の課題について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

合理化・省力化不足

設備・店舗等の老朽化・狭小

原材料・仕入製（商）品高

販売代金・受取条件の悪化

設備過剰

売上・受注の停滞・不振

資金繰り・金融難

人手不足

人件費の増加

過剰在庫

販売価格の値下げ

競争の激化

生産・販売能力の不足

諸経費の増加

立地条件の悪化

その他（

）

特になし